日本大学 軽井沢公開講座

第45回
令和6年度

日　時
令和6年9月28日（土）
13:00～16:10

場　所
日本大学 軽井沢研修所
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町
軽井沢1052-1
TEL.0267-42-2401

講座1　講演時間 13:10～14:30

ともにドラえもんをつくる

文理学部准教授 文理学部次世代社会研究センター（RINGS）センター長
大澤 正彦（おおさわ まさひこ）

講座2　講演時間 14:50～16:10

機能性食品のあり方

～特定保健用食品、機能性表示食品、サプリメントの課題～

生物資源科学部教授
熊谷 日登美（くまがい ひとみ）

●募集人員
100名

●参 加 費
無料

●参加対象
軽井沢町及び近隣在住者、本学学生・生徒及び教職員

案　内　図



●お問合せ
日本大学本部学務部学務課
〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24
TEL.03-5275-8115　FAX.03-5275-8315

上記のQRコードからお申し込みサイトへアクセスしてください。
電話でのお申し込みをご希望の場合には、左記のお問合せ先にご連絡願います。

主催／日本大学　後援／軽井沢町・軽井沢町教育委員会

講演概要

講座1　ともにドラえもんをつくる

私の夢は、ドラえもんをつくることです。特に Human-Agent Interaction という研究領域を中心に、人と AI のインタラクションの中から知能の本質に挑戦しています。賢い人工知能や便利なロボットをつくるのではなく、ドラえもんを目指し続けたことで、人や社会と真剣に向き合い、多くの人々と「ともにドラえもんをつくる」というビジョンにたどり着きました。

例えば、あえて言葉を話せないロボットとのインタラクションを研究することで、人とロボットの”心が通じ合う”とはどういうことかを考えてきました。また、「日大が変われば日本が変わる」という信念のもと、日本大学の強みを活かした活動にも取り組んでいます。2020 年に設立した日本大学文理学部次世代社会研究センター（RINGS）は、学生・教職員・外部の個人や団体をコミュニティとして繋ぎ、多種多様な価値を創出する拠点となっています。

本講演では、「ともにドラえもんをつくる」取り組みを通じて、見据える未来について、みなさんと一緒に議論したいと考えています。

講座2　機能性食品のあり方

～特定保健用食品、機能性表示食品、サプリメントの課題～

機能性表示食品として消費者庁に届け出ていた紅麹サプリメントを摂取したことによる健康被害が発生し、機能性表示食品やサプリメントに関する関心が高まっています。その一方で、「特定保健用食品」、「機能性表示食品」、「栄養機能食品」、「健康食品」、「サプリメント」の違いは分かりづらいのではないでしょうか。

食品には、栄養と嗜好性（おいしさ）に加え、病気を予防し、身体の調子を整える働き（三次機能）があり、この三次機能を持つ食品を「機能性食品」と呼びます。そして、この「機能性食品」を制度化して「特定保健用食品」ができ、さらに、「特定保健用食品」よりも製品化のハードルを下げた「機能性表示食品」ができました。また、2001 年からは、錠剤やカプセル形状のいわゆる「サプリメント」が食品として流通可能になっています。本講演では、これらの食品の違いと課題についてまとめ、課題解決のためにはどうしたら良いのか考えます。